



3月6日よりティーラウンジショパンがリニューアルしました！



グリーンで統一されたテーブルクロスが美しく店内の景観も変わり、とても落ち着く空間になっています。数量限定の日替わりランチもとても豪華で美味しい料理が提供されています。ぜひお立ち寄りください！

すこやか

KEIYUKAI NEWSLETTER

2023.5
vol. 80
free paper

ご自由にお持ちください



診療科目

- ・一般内科
- ・消化器内科
- ・呼吸器内科
- ・循環器内科
- ・腎臓内科
- ・内分泌内科
- ・緩和ケア内科
- ・外科
- ・整形外科
- ・泌尿器科
- ・放射線科
- ・リハビリテーション科
- ・歯科・歯科口腔外科
- ・肝臓病センター
- ・内視鏡センター

併設センター

- ・糖尿病・生活習慣病センター
- ・人工腎臓センター
- ・化学療法・治療センター
- ・予防医療センター
- ・在宅医療福祉センター
- ・緩和ケアセンター
- ・肝臓病センター
- ・内視鏡センター

グループ施設

- ・老人保健施設 さくら館
- ・特別養護老人ホーム 養生の杜カムイ
- ・デイサービスセンター ほたる
- ・グループホーム K館
- ・グループホーム アテナ
- ・特別養護老人ホーム 仁慈苑
- ・デイサービスセンター 透空



医療法人社団 慶友会
吉田病院



■診療受付時間

- 【平 日】 午前 8:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
 【土曜日】 土曜 8:00 ~ 12:30
 【休診日】 日曜日、祝日、年末年始

〒070-0054 旭川市4条西4丁目1-2

0166-25-1115

<https://www.keiyukai-group.com/yoshi-hp/>



医療法人社団 慶友会 吉田病院
YOSHIDA HOSPITAL

CT 装置を
最新の 80 列マルチスライス CT 装置に更新しました。



当院はこの度、AI 技術を活用して X 線被ばくを低減した、最新の 80 列マルチスライス CT 装置「Aquilion Prime SP / i Edition」を導入しました。

この装置は、回転しながら撮影したデータから体の断面の画像（横断像）を作成する際に、AI 技術を活用した方式（ディープラーニング再構成）を用いる事で従来よりも少ない X 線量で撮影を行いながら微細な構造を精密に描出できます。そのため、検査の負担を軽減しつつ、様々な病気を早い段階で発見する事に繋がります。

また、以前の装置では 1 回転で 16 断面を同時に撮影していたのに対し新装置では 80 断面を同時に撮影でき 1 回の撮影

に必要な時間が短く済むため、胸部・腹部を撮影する際の息止め時間も短縮できることから従来よりも楽に検査を受けていただけます。

また、体内金属による画像への影響を改善する技術を搭載しており、人工関節置換を受けられた方、骨折を金属で固定した方などに対して診断機能を向上する事が可能です。

更に、CT 本体の開口部の大きさが従来の 72cm から 78cm に拡大した事で、脚が伸ばせない・腕が上がらない等、撮影に必要な体勢が取りづらい方でも空間的な余裕があるため装置に接触しにくく、より安全に検査を行うことが可能となりました。

Q 新 CT を導入したこと
期待されることとはありますか？

新しく導入した CT 装置は、従来のものと比較して「よりきれいな画像」を「優しく安全な検査」で「短時間」で撮影する事が可能となりました。以下に各々の点について簡単に説明いたします。

POINT
01

よりきれいな画像

細かい検出器を使用していること、またソフトウェアの改善により、微細な病変・組織の描出能が向上します。従来は体内金属（手術後のクリップや人工骨頭など）の周囲の構造が見えにくく、診断に苦渋することがありましたが、こちらの問題も改善されます。

POINT
02

患者様に優しく安全な検査

CT はレントゲンと同様に放射線を用いる検査です。少ない被ばく線量での撮影が可能になったことにより、体への影響を最小限に抑えることができます。また、検査台の高さを調節することにより、今までより乗り降りしやすくなります。

POINT
03

検査時間の短縮

従来と比較して短時間での撮影が可能なため、息を止めていただく時間が短くなるなど、患者様の負担が軽減されます。医療者にとっても、早く画像を確認できるというメリットがあります。

最新の CT 装置による検査の体制が整いました。

今後とも、患者様に安全・安心な医療を提供できるよう努めて参ります。



担当：放射線科
高林 江里子 先生

見舞い花のすすめ

お見舞いのお花のギフトスタイルとしてプリザーブドフラワーがおすすめです。

「プリザーブド」とは英語の preserved のことで、「保存された」という意味があります。生花の一番美しい時期に色素を抜き取り、特殊な加工を施したプリザーブドフラワーは、枯れることなく水やりの必要もないことが大きな特徴です。また、生花のような花粉や香りはありません。

花束もかわいらしく人気の贈り物ですが、花瓶の準備が必要であったり、2日に1回程度水替えの手間が発生するので、お相手の状況によっては負担に感じてしまうことがあります。

また、鉢植えのデザインのものは植物が土に根を下ろしている様子が「根付く」すなわち「寝付く」という言葉を連想させ、病気が長引くことの暗示となるため縁起が良くないと言われています。

花を選ぶ際は、花の色にも気を付ける必要があります。白・青・紫系の花はお悔やみの際に選ばれることが多いです、避けたほうが無難です。

差し色として少量混じる程度であれば問題ありませんが、全体を寒色でまとめた場合は寂しげなイメージを抱かせてしまいます。

その他避けたい花の例として、シクラメン、アジサイ、椿、チューリップ、菊などが挙げられます。シクラメンは、その名前から「死」や「苦」といったネガティブな言葉を連想させます。アジサイは枯れて色あせていく様子が、また椿・チューリップは花が落下してしまう様子が、それぞれ縁起が悪いとされているため避けるべきです。菊は葬式に飾られる花の代表であるため、お見舞い・退院祝いにはタブーな花とされています。一方、「希望」の花言葉をもつガーベラやスノードロップ、デイジー、トルコキキョウ、エーデルワイスは華やかで明るく、よくお見舞いに用いられます。

花は、それが強いメッセージ性を持っています。状況によって最適なギフトスタイルを選んで贈るようにしましょう。

IT 小話

スマートフォンの登場は今から約 15 年前のことです。

今では各種サービスもスマートフォンを活用したものが多く、最近ではワクチン接種記録やマイナポータル情報もスマートフォンを使って閲覧することができるようになりました。

近年では小学校教育にもタブレットが導入されたり、お店のレジがタブレットになっている店舗もみなさん見たことがあるのではないでしょうか？

また※1 IoT(Internet of Things) 化が進み、身につける時計や指輪にインターネットを活用した※2 ウェアラブルデバイスも登場し、家の鍵や車の鍵への代用、健康管理への活用、キャッシュレス決済への活用など多様なデバイスが生活に入り込んでいます。

2023 年には大手メーカーから AR（拡張現実）メガネが登場するとも言われていて、一部の情報では手で操作するではなく目で操作ができるらしく、これは 15 年使ってきたスマートフォンのタッチ操作を過去のものにするデバイスとなるとの噂もあります。

このデバイスは SF 映画で見るような空中に浮かんだ情報を手で触って操作する、といったこともできるようになる見込みです。（実際に空中に浮かんでいるのはその人のメガネで見た映像の中でのみです）

ウェアラブルデバイスを身に着けことで、自宅のドアは勝手に開閉して施錠。

車も自動でロックが開いて乗り込むことができます。

車に乗り目的地まではメガネに映った本を読みながら自動運転で到着します。睡眠時間も指輪や時計で記録されているので、読書より睡眠が望ましい場合は「睡眠を取りましょう」と提案してくれます。出勤後も朝に読むべきメールがメガネを通して目の前に映像として現れます。仕事し過ぎなあなたには定期的にリラックスするように通知でお知らせしてくれますし、お昼もカロリー分析された近くの食事処を提案もしてくれます。これらはすべて遠い未来の話ではありません。

すべての情報を管理・監視されるが、なにも気にすることなくとも健康に生きていける未来がすぐそこに訪れています。しかしこんな未来がすべての人にとって良い人生であるかどうかはまだ誰にもわからない話…。

※1 …モノがインターネットに接続されることで通信機能をもち、相互作用可能な状態であること

※2 …手首や腕、頭などに装着するコンピューターデバイスのこと



担当：IT ソリューション課
課長 上島 亮

気になる採血管の話

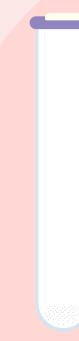
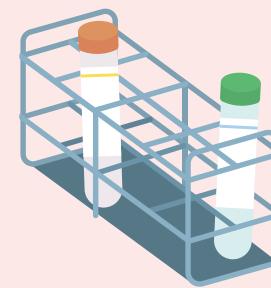
採血を行う際、蓋の色や大きさが異なる何本かの採血管に少しづつ血を採ってもらったことはありませんか？

この方法で行う採血は真空管採血といいます。

採血管を差し替えるだけで必要な血液量を維持できるなど、

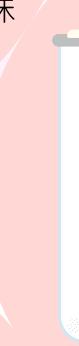
手間がかからないうえに感染のリスクも少なくなり、患者様への負担が少なくなります。

様々な種類の採血管がありますが、蓋の色ごとにどのようなことが調べられるのか一部分ですが紹介します。



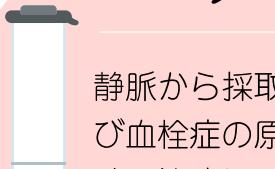
EDTA-2K【紫】

日常診療における基本的な検査の一つです。貧血など血液疾患や感染、炎症、ストレス、腫瘍などを疑う場合の診断、およびこれらの疾患の経過観察、治療効果判定などに利用されます。



フッ化Na+ヘパリンNa【灰】

血中に含まれるブドウ糖（血糖）の量を表します。血糖値は糖尿病の診断基準の一つとなります（糖尿病診断基準）。ブドウ糖は、インスリンによって細胞に取り込まれ、体を動かすためのエネルギーになります。



クエン酸Na【黒】

静脈から採取した血液を用いて、出血および血栓症の原因や病態把握、脳心血管障害時の治療に用いられる治療薬の効果を判断するために必要となるタンパク質の検査です。



監修：臨床検査課

血液検査・尿検査などの検体検査や、心電図・超音波検査などの生理機能検査を医師の指示・監督に従っておこない、患者さんの身体的データを作成し、診断・治療に役立てます。

Challenge! 脳トレーニング

問題

まちがいを5つ見つけましょう。



答
え
る
場
所
は
下
記
の
と
う
だ
す
。